

《平成 25 年度放送番組審議会》

1. 日時：平成 26 年 3 月 14 日（金）
2. 場所：船橋グランドホテル 15:00～17:00
3. 出席者：

番組審議委員	会	長	伊藤 賢二 (船橋商工会議所会頭)
	副 会	長	海寶 嘉胤 (習志野市社会福祉協議会会長)
	委	員	古畠 秀昭 (船橋市市長公室広報課長)
	委	員	岡村 みゆき (習志野市広報すぐきく課課長)
	委	員	国松 実枝子 (元千葉県教育委員長)
	委	員	西村 由美 (船橋商工会議所事務局長)
	委	員	山田 宏 (習志野商工会議所理事事務局長)

(株) J C N 船橋習志野	代表取締役社長	内山 賢治
	取締役放送担当	鈴木 俊一
	企画・制作部部长	酒井 学
	企画・制作部	
	制作・編成グループリーダー	梅澤 幸生

(株) ジャパンケーブルネット千葉エリア制作室長	日沖 英明
--------------------------	-------

4. 欠席者：
- | | | | |
|--------|---|---|--------------------------------|
| 番組審議委員 | 委 | 員 | 鈴木 とし江
(習志野市民まつり実行委員会事務局次長) |
|--------|---|---|--------------------------------|

敬称略

上記のとおり出席があり、放送番組審議会規定第 4 条の定めに従い、放送番組審議会は有効に成立したので定刻に審議に入った。

5. 議事

(1) 開会の辞

企画・制作部 部長 酒井より、開会の宣言がなされた。

(2) 会長挨拶

伊藤会長より、挨拶と各委員の紹介の後、議事進行についての説明があった。

(3) 社長挨拶および事業概要説明

弊社社長内山より、挨拶と委員各位の日頃の支援に対するお礼の後、
弊社事業内容について詳細な説明があった。

(4) 平成 25 年度および平成 26 年度の番組編成について

弊社企画・制作部グループリーダー 梅澤より船橋習志野局制作番組について、
ジャパンケーブルネット千葉エリア制作室長 日沖よりコミュニティチャンネル
組織の再編とチャンネル編成、共通番組等について詳細な説明があった。

(5) 質疑・意見交換について

議長である伊藤会長が各委員に諮ったところ、下記のような発言があった。

記

伊藤会長：ケーブルテレビの放送というと、いつも同じ放送が繰り返し流れているとか、
通販番組が多いという印象を多くの視聴者が持っている。民放の BS 放送なども
リピート放送が増えている。もっと多くの人に見てもらうためには、番組編成
などの工夫も必要ではないか。また、地域情報については、かなりきめ細かく
取り上げてもらってはいるが、過去形ではなく、今の視聴者に役立つ情報提供
に努めてほしい。

海寶委員：昨年の課題について改善が出来ていると感じる。来年度は、習志野市制施行
60 周年の年でもあるので、例年にも増して市のイベント（お祭り・音楽祭など）
を沢山取り上げて、今後も地域メディアとしての役割を担ってほしい。

国松委員：いろいろな地域の情報を番組で取り上げてもらっていると思う。特にお店紹介
の番組などはとても興味深いが、場所の説明がわかりづらいのが難点。
千人の音楽祭は、当日会場に入場できない人も多く、ケーブルテレビでしか
当日の様子がわからない。千人の音楽祭の生放送の際、もっと音質の向上に
努めてほしい。

西村委員：コミュニティチャンネルの視聴率は、地上波の視聴率と比べてどうなのか？
現在、船橋市では、行政と経済界が共同してシティセールスに取り組んでいる。
地元の観光や物産を広くアピールするためにも、JCNのスケールメリットを
活かしてどんどん船橋・習志野の情報を市外に発信してほしい。

古畠委員：コミチャンでは、市の広報番組のほか、デイリーニュースや議会放送など様々
な市政情報を提供してもらっている。特に千人の音楽祭や親水港公園花火大会
の生中継特番など、毎年楽しみにしている市民も多い。これからも相互連携を
密にしながら、地域の情報を放送してほしい。

岡村委員：防災行政無線のデータ放送や日頃の市の取り組みの紹介など、地域に密着した
メディアとしてよく対応してもらっている。今後も広報番組改善のための
見直しなど、互いに協力していきたい。また、先ほども話に出たが、来年度は、
習志野市制施行 60 周年を記念して花火大会やご当地キャラクターの発表なども
予定されているので、積極的に取り上げてもらえるとありがたい。

山田委員：史上初の 4 連覇、日本一となったアメリカンフットボール オービックスシーガ
ルズ。地元習志野(秋津サッカー場)での試合を放送してほしい。地元スポーツ
は貴重な市の資源となるがまだまだ認知度が低い。
デイリーニュースでコーナー化もされているがもっともっと多く取り上げて多
くの人にシーガルズを知ってもらいたい。

内山社長：

鈴木取締役：

日沖部長：

梅澤グループリーダー：

- ・ケーブルテレビがより地域に密着したメディアになるよう行政や地元各種団
体との連携を一層密にしていきたい。
- ・船橋・習志野地域の情報をグループ局と協力して広く発信していきたい。
- ・放送番組審議会でのご意見を今後の番組制作に活かしていくので、引き続き
ご協力を願いたい。

以 上

(6) 閉会の辞

以上で議事の全てを終了したので、

企画・制作部部長 酒井より 17 時 00 分閉会の宣言があった。